

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年1月27日(2023.1.27)

【公開番号】特開2021-115264(P2021-115264A)

【公開日】令和3年8月10日(2021.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2021-036

【出願番号】特願2020-10789(P2020-10789)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 631

【手続補正書】

【提出日】令和5年1月19日(2023.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外周面に複数種類の図柄が配列されている複数のリールと、

小役を含む複数種類の役の当否を決定する内部抽選を行う内部抽選手段と、

前記複数のリールを遊技毎に回転させ、停止操作を契機として、内部抽選の結果に応じた態様で回転中のリールを停止させる制御を行うリール制御手段と、

役の入賞を判定する入賞判定手段と、

第1状態および第2状態を含む複数種類の遊技状態の間で遊技状態を移行させる制御を行う状態移行制御手段と、を備えた遊技機であって、

前記小役の当選態様として、前記第1状態および前記第2状態で特定操作態様における停止制御を変更する第1当選態様と、前記第1状態および前記第2状態で前記特定操作態様における停止制御を変更しない第2当選態様とが設けられ、

前記リール制御手段が、

内部抽選で前記第1当選態様を得た場合に、前記第2状態では、前記特定操作態様において正解小役が入賞し、前記特定操作態様とは異なる操作態様において不正解小役が入賞し得るように停止制御を実行可能であり、前記第1状態では、いずれの操作態様においても前記不正解小役が入賞し得るように停止制御を実行可能であり、

内部抽選で前記第2当選態様を得た場合に、前記第1状態および前記第2状態のいずれであっても前記特定操作態様において前記不正解小役と同一配当の他の小役が入賞し得るように停止制御を実行可能であることを特徴とする遊技機。

30

【請求項2】

請求項1において、

遊技状態として第3状態が設けられ、

前記内部抽選手段が、

前記第1状態では、前記正解小役を含む複数種類の正解小役が互いに重複せずに当選する複数種類の特定当選態様が存在するように内部抽選を行い、

前記第3状態では、前記正解小役が重複して当選する他の当選態様が存在し、前記他の当選態様を得る確率が、前記第1状態において前記複数種類の特定当選態様のいずれかを得る確率よりも低くなるように内部抽選を行い、

前記第1当選態様は、前記複数種類の特定当選態様に含まれることを特徴とする遊技機。

40

50